

ANTHEM Dual Pickup System USER'S GUIDE

C.R. Baggs

エルアールバッグスの製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

Anthem は特許申請中（2010.7 月現在）の革新的なマイク “Tru-Mic” と定評の “Element” を使用し、ギター本来の生音をリアルに出力できるデュアルピックアップシステムです。このユーザーガイドをお読みの上、未永くご愛用ください。

■パッケージに含まれるもの：

1x Anthem プリアンプ（コントロール）、1x Tru Mic、1x Element ピックアップ、1x 配線済エンドピンジャック、1x 電池/バッグ用配線、1x 電池バッグ、6x Wire Clip 配線固定用、1x プリアンプ取付け用両面テープ（予備）、1x Tru・Mic 取付け用両面テープ（予備）

■Anthem とは：

特許申請中の特殊構造を持つ小型マイク “Tru-Mic” が Anthem システムの特長です。マイクを外部にセッティングした時にしか得られないギター本来の鳴りそのままを、ギター内部にセットする “Tru-Mic” が正確に集音します。しかも驚くほどのフィードバック抵抗があります。低音域（200Hz 以下）はサドルピックアップの下にセットする Element（エレメント）ピエゾピックアップが担当し、サウンドにパンチと芯を加えます。また 250Hz 以上では Tru-MIC サウンドと Element サウンドとのミックスが可能で、Tru-MIC を使わない Element だけのサウンドにも出来ます。サウンドホールにセットするプリアンプ/コントローラーで、ボリューム、ミックス、フェイズを調整でき、加えてバッテリーチェッカー機能もあります。

Anthem のコントロールボックスは通常サイズ（4 インチ）のサウンドホールと X プレーシングに合うように設計されています。固定作業の前に、ご自分のギターにフィットするかお確かめになるようお願いいたします。（右図参照）

（注）このシステムはアコースティックギター専門店や熟練のリペアマンにインストールされる必要があります。間違っていたり不適切な取り付けが原因の再調整などは有料となる場合がありますのでご注意ください。



■Element およびエンドピンジャックの取付け：

別紙の Element User Guide を参照下さい。

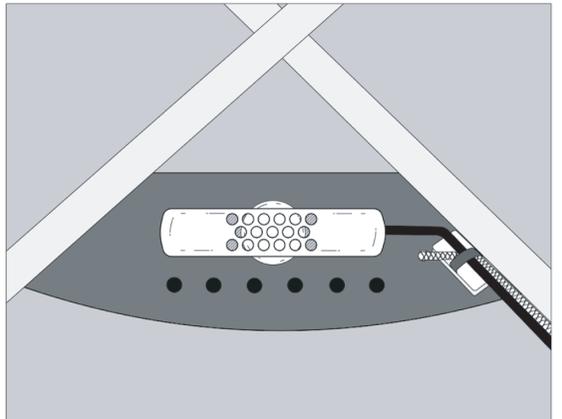
■Tru-Mic の取付け：

Tru-Mic はボディ内ブリッジプレートに取付けます。右の図のようにサドルの下あたりの位置です。他の貼付けタイプのマイクやピエゾピックアップと違い位置決めはそれほどシビアではありません。ただし取り付け前にホコリやオイルが付着していないか、又取付け面がスムーズなフラット面であることをご確認ください。Tru-Mic の配線が Element と合わせて配線をします。マイクを取付けた後は外側から挟むようにマイクの固定を確認します。

もしマイクを取り外す場合はマイクを手でしっかりとホルドしネック寄りの方向に力をかけ取外します。その後、接着剤が残らないよう気をつけてください。

■バッテリーバッグ：

付属の両面テープでボディの裏側、横またはネックブロックに取り付けます。



■プリアンプ／コントローラーの取り付け：

(注) プリアンプをギター内に取付けてしまう前に、あらかじめプリアンプの配線を全て接続して下さい。

pz: Element ピックアップを接続します。

mic: Tru-Mic を接続します。

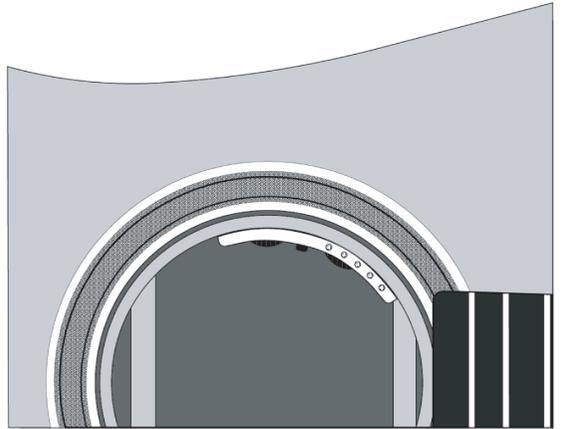
out: エンドピンジャックを接続します。

batt: バッテリーを接続します。

<設置場所>

プリアンプの取付け場所はトップボードの裏側、低音弦側のネック寄りです。プリアンプ・コントロールパネル端が、サウンドホールに沿って顔を出すように設置します。(右図参照)

取付け場所がきれいになっていることを確認してください。今一度プリアンプを仮置きして、プレイシングに当たっていないか確認して下さい。



<取付け>

両面テープの保護シールを剥がし、慎重にプリアンプを取付けます。しっかりと密着させる前に、取付け場所や配線が正しいか確認し直します。良ければそのままプリアンプを押し付けて、しっかりとテープが密着するように固定して下さい。ボディの外側からも押さえながらの作業が良いでしょう。内部の配線を、付属品のクリップを使って不用意に振動しない様に固定します。最後に弦を張り直します。

■調整と確認テスト：

まずギターをアコースティックギター用のアンプか P.A. に接続し、全ての EQ をフラットに設定します。

(A) MIX CONTROL(Tru-Mic と Element のバランス)

ネック側に回すと主に Tru-Mic の音になり、Element は 200Hz 以下のみを担当します。ブリッジ側に回し切ると、Tru-Mic 音がゼロになり、Element だけのフルレンジサウンドになります。Element だけの場合は、特に各弦の音量バランスが整っていることを確認して下さい。バランスが悪い場合は、Element の設置状態を確認し、バランスを整えて下さい。

(B) PHASE INVERSION: フェイズを反転します。どちらか側で、音が良い方を選んで下さい。環境によって変化しますので、両方のポジションを試す事をお勧めします。

(C) VOLUME CONTROL: ネック側に回すと音量が上がり、ブリッジ側で音量が下がります。

(D) BATTERY CHECK: ボタンを押すとバッテリーの残量が判ります。バッテリーライフは 170 時間 (連続使用時) で、バッテリーが充分な時は、LED が 5 つ全て点灯します。LED が 2 つになると残り 8 時間程で、1 つになったらバッテリーを交換して下さい。バッテリーの設置場所は、大抵ネックブロックのあたりです。

(E) MIC GAIN CONTROL

Tru-Mic のゲイン (最大音量) を調整し、200Hz 以下の低域の Element との音量バランスを調整します。この設定は少し動かすだけで変わりますので、急激に変えるのではなく、少しずつバランスを見ながら調整して下さい。時計回りで大きく、逆回りで小さくなります。繊細な部品ですので、止まったらそれ以上無理に回さないようにお気をつけ下さい。

